

2025年度 実務経験のある教員による授業科目一覧【看護学部】

氏名	科目名	単位数	授業内容 (どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)
吉武 幸恵／加藤 俊文／金子 保敏	健康科学	2	担当者はそれぞれスポーツ指導、看護、医療などの専門家である。実際に教育機関やスポーツ現場や病院等で多くの選手や関係者をサポートしている経験を有する。
山口 豊	カウンセリング基礎	1	カウンセラーのキャリアを生かした授業を展開する。
市川 香織	キャリアデザインとケアⅠ	1	看護師、人的資源管理の専門家としての経験をもとにしたキャリアデザインについて授業で具体的な事例を提供する。
市川 香織	キャリアデザインとケアⅡ	1	看護師としての経験をもとにしたインタビュー技術やチームにおける対話力、チームワーク、ラボレーション、リーダーシップ、フォロワーシップの実際についての授業内容とする。
市川 香織	キャリアデザインとケアⅣ	1	専門職業人のキャリアサポートを行ってきた実務経験を活かして、卒業前教育としての総仕上げとなるよう具体例を通した授業を行う。
岡田 彩子	ヘルスアセスメント論	2	急性期領域での実務経験(看護師)を活かし看護対象者の理解と健康状態のアセスメント(ヘルスアセスメント)の基礎について指導する。複数の患者事例によるアセスメント演習と対象の観察を目的としたシミュレーション演習によって、学生の実践的な思考力および観察技術を養う。
岡田 彩子	ヘルスケアサービス論	2	日本にて看護師、看護管理者、教育者としての経験があり、実践家として、アメリカにて専門看護師の取得した。アメリカ、カナダ、タイ、バングラデシュ、ベトナムでの看護実践、教育を紹介する。
岡田 彩子	ヘルスケアマネジメント論	1	看護管理者の実務経験をもとにマネジメントに関する基礎知識と、具体的な事例(状況)の中で活用できるマネジメント方法について講義を行う
北村 幸恵	リハビリテーション論	1	教育リハビリテーション、社会リハビリテーション、職業リハビリテーション、リハビリテーション看護の実務経験に基づいたリハビリテーションの考え方と実際についての講義を行う
市川 香織	家族看護学	1	講義を担当する教員は看護師としての実務経験を活かし、家族に関する概念と具体的な支援について、学生が考察を深められるよう講義を行う。
荒川 雅子	学校保健論Ⅰ	1	学校現場で養護教諭として勤務した経験を活かし、実際に学校で起こった事例を基に、課題を解決できる力を身に付けさせる。
荒川 雅子	学校保健論Ⅱ	1	学校現場で養護教諭として勤務した経験を活かし、実際に学校で起こった事例を基に、課題を解決できる力を身に付けさせる。
鈴木 明子	感染症学	1	千葉大学医学部附属病院ICT(Infection Control Team)のメンバーの一員として活動した経験、千葉県保健所保健婦として感染症危機管理に対応した経験を活かして、感染対策に関する講義を行う。
松石 雄二郎	看護と情報Ⅰ	1	医療機関での実務経験を活かし、医療従事者の情報管理の実際や医療情報システムの現状を踏まえた講義を行う。また、看護師としての実務経験を踏まえ、看護師の働く環境にICTやIoT、AIなどのデジタルテクノロジーがどのように活かされていくかを示していく。
松石 雄二郎	看護と情報Ⅱ	1	研究活動として計量心理尺度や量的データ分析を行った経験を活かし、保健・医療・看護分野におけるデータサイエンスの視点を養う講義を行う。
松石 雄二郎	看護と情報Ⅲ	1	看護学領域の研究者としての経験を活かし、当該分野のデータ分析に関する講義を実践的な視点から行う。
菅原 久純	看護過程論	1	急性期領域での臨床経験を活かし、看護過程における基本的なアセスメントに必要な情報と情報統合について指導する。特に生活者としての対象理解に必要な看護の視点について指導する。

氏名	科目名	単位数	授業内容 (どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)
岡田 彩子	看護学概論	2	臨床での看護師、看護管理者、実地教育担当者、専門看護師の実務経験を活かし、社会構造が変化し、医療を取り巻く環境の変化に合わせて看護を創造していくことを見据えて、看護の基本となることを考えていきます。講義と討議、グループワークを組み合わせながら、ともに看護の在り方について考察していきます。
吉武 幸恵	看護技術論Ⅰ	2	総合病院の病棟での実務経験を活かし、看護技術(主に生活行動支援)の基礎について指導する。講義と課題学習の組み合わせにより、看護技術の意義、特徴を理解し、主概念である安全・安楽・自立を目指すことの重要性および、看護の基本である人間関係技術を理解し、対象者との関係を築き発展させる能力が身につくよう指導する。
菅原 久純	看護技術論Ⅱ	2	総合病院の病棟実務経験を活かし、看護技術(主に診療の補助技術)の基礎について教授する。講義・演習においては、実務で経験した事例や報告事例を提示して、問題点や注意すべき点についてイメージしやすいように展開する。また、診療の補助に係る技術では患者に侵襲を加える行為も含まれるため、根拠に基づいた安全・安楽な援助技術を身につけられるよう支援する。
吉武 幸恵	看護研究	1	総合病院の病棟での実務経験を活かし、医療現場における疑問や課題から研究課題へと洗練し。研究デザインや研究方法の選定、データ収集から分析、結果のまとめ方の概要について指導する。
小島 善和	看護倫理	1	看護師としての実践経験と患者家族としての実際の体験に基づき、臨床場面で遭遇する倫理的諸問題について紹介するとともに、その解決のステップについて学習する。
時田 礼子	公衆衛生学	2	保健師として自治体に勤務した経験を活かし、公衆衛生学について、生活をしている限り自分に関係のあることとして捉えられ、且つ看護職としての視点も養うための講義を行う。
井出 成美	公衆衛生看護活動方法論Ⅰ	1	保健師としての経験をいかして、地区診断、事業評価の内容を享受する。乳幼児健康診査の実際場面を想起できるような演習材料を提示する。
井出 成美	公衆衛生看護活動方法論Ⅱ	2	経験した保健師活動から演習素材を取り出し演習を行う。
大石 朋子	口腔健康論	1	摂食嚥下リハビリテーションに従事した経験を活かし、口腔の健康に関連した講義を行う。
長坂 奎英	高齢者看護学概論	2	総合病院の病棟での高齢者看護および老人看護専門看護師の実務経験を活かし、加齢減少が高齢者の身体面・心理面・社会面に及ぼす影響について解説する。更に事前事後学習やグループワークを通じて高齢者を取り巻く保健・医療・福祉における問題と課題を考察し、老年看護の目的と役割を理解する。
長坂 奎英	高齢者看護学方法論	2	高齢者看護学の臨床経験を活かし、加齢に伴う身体的・心理的・社会的な変化をふまえ、高齢者に生じやすい様々な生活機能ならびに健康上における障害の特徴と予防方法について指導する。講義と演習を連動させることにより、高齢者看護の対象となる人々の特性に応じた看護の提供方法および看護実践に必要な基礎知識・技術を修得する。
岡田 彩子	国際看護論	1	外国人の研修受け入れや海外での看護実践経験を活かし、国際看護の概念やグローバルな視点で「健康」や健康課題について、異文化・多様性を考慮したケアについて、学生がイメージしやすいように展開していく。
水野 芳子／芳賀 邦子／細川 満子	在宅看護学概論	2	各教員の在宅看護・施設看護の経験を活かし授業を進める
細川 満子	在宅看護学概論Ⅰ	1	講義において実務経験から得た在宅・地域での人々の暮らしや社会資源の機能および地域ケアシステムについて教授する。
細川 満子	在宅看護学方法論	2	在宅看護の実務経験を活かし、在宅療養者とその家族を単位とした地域・在宅での看護活動の展開方法と技術について指導する。講義と演習との組み合わせにより、訪問看護で用いられる主な医療的管理や看護ケア技術を学ぶ

氏名	科目名	単位数	授業内容 (どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)
伊藤 美千代	産業保健論Ⅰ	1	産業保健活動経験を活かし、事例を通じて産業保健活動の実際の講義を行います。
伊藤 美千代	産業保健論Ⅱ	1	授業では、実際の産業保健師活動事例を基に説明を進めます。
中嶋 隆裕／是木 明宏／小泉 輝樹	疾病と治療Ⅲ	1	(小児)小児科・小児外科病棟での勤務経験から看護で必要となる医学的知識と治療の対象となる個人及び集団の特徴を説明する。また、医学部大学院および基礎医学研究にて学んだ専門的知識を看護経験と結びつけて理解しやすいように説明する。(精神)日常の診療経験を含め、治療及び療養の実際と対象となる個人及び集団の特徴について説明する。
中嶋 隆裕	小児看護学概論	2	小児科・小児外科での実務経験のある教員が、小児看護の基礎について解説する。子供を取り巻く保健・医療・福祉の動向と課題について理解し、成長発達過程にある子どもの特徴や小児看護の役割を学ぶ。また小児看護における倫理や子どもの最善の利益を目指した看護について学ぶ。
中嶋 隆裕	小児看護学方法論	2	小児科・小児外科での実務経験のある教員が、小児看護の基礎について解説する。健康障害を有する子どもとその家族について臨床で必要となる知識や技術を実例を交えながら指導する。技術演習では一つ一つの行為にどのような根拠や狙いがあるかを考えながら取り組めるように援助する。
松石 雄二郎	成人看護学方法論(急性期)	2	教科書に記載された内容だけではなく、教員それぞれの実務経験に基づいた実践例を交えることで、理論と実践を結びつけた授業を行う。
山内 英樹	成人看護学方法論(慢性期)	2	臨床での豊富な看護実践の経験を有する教員が実践的な授業展開を行う。
天野 敏江／小山 達也／江波戸 和子	精神看護学概論	2	精神科看護師としての実務経験に基づき、精神障がい者の理解および精神看護の特殊性について指導する。また、講義や演習の組み合わせにより、精神障がい者をとりまく精神保健医療福祉の現状を学ぶとともに精神障がい者のリカバリーを進めるために必要な知識と援助技術を習得する。
天野 敏江／小山 達也／江波戸 和子	精神看護学方法論	2	精神科看護師としての実務経験に基づき、精神障がい者の理解および精神看護の特殊性について指導する。また、講義や演習の組み合わせにより、精神障がい者をとりまく精神保健医療福祉の現状を学ぶとともに精神障がい者のリカバリーを進めるために必要な知識と援助技術を習得する。
井出 成美	地域包括ケアと多職種連携	1	保健師・看護師の実務経験を踏まえて、地域包括ケアシステムや多職種連携に関する学生のリフレクションへのフィードバックをします。
市川 香織	母性看護学概論	2	助産師としての実務経験を活かし、生涯を通じた女性の健康の支援、リプロダクティブヘルス・ライツに関する概念と具体的な支援、母子保健とそれを取り巻く課題等について、学生が考察を深められるよう講義を行う。
市川 香織	母性看護学方法論	2	助産師としての実務経験を活かし、周産期における母性の特性を理解し、妊娠・分娩期および産褥期にある女性と新生児、その家族の看護について指導する。講義と演習の組み合わせにより妊婦・産婦・褥婦の身体的・心理的变化と家族を含めた対象の心理・社会的特性、および新生児の生理的特徴についての知識、観察と援助に必要な看護技術を習得できるような形態で行う。
生魚 薫	臨床栄養学	2	総合病院での実務経験を活かし、管理栄養士と看護師の関わりについて交えながら解説していく。
細川 満子	ケア論	1	在宅看護での経験、地域でのボランティア経験に基づきケアの対象を多角的に捉え、地球社会におけるケアの方法を見出すことを指導する。講義とグループワークの組み合わせにより、ケア対象者・家族の思いを共感し、ケアとは何かという根本的な問題を考えられるようにする。
水野 芳子	家族看護論	1	小児看護専門看護師及び在宅看護担当教員として、臨床看護における子どもと家族を中心とする看護実践を生かした授業展開に努める。
	合計	68	